

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【学校行事】

- ・平成28年11月21日に、本校の体育館において「ユネスコスクール講演会」を開催した。第33次日本南極地域観測隊長兼越冬隊長の福地光男様を講師にお迎えし、「南極越冬隊の活動を通して～地球環境を考える～」というテーマで御講演いただき、4～6年の児童、保護者、ならびに蓮田・白岡地方ユネスコ協会の方々合わせて約350名が参加した。当日は、貴重な経験をもとにした大変興味深いお話と、本物の南極の氷を使った体験を通して、子どもたちにとっては地球の環境問題について考える有意義な時間となった。

【委員会活動】

- ・ユネスコスクール委員会では、平成28年4月の熊本地震の直後に、全校児童に緊急の募金活動を呼びかけ、集まったお金を日本赤十字社を通して被災者の方々に送った。また、児童集会で世界の子どもの現状を伝え、使わなくなった算数セットを各家庭から回収し、ユニセフを通じてウガンダの小学校に送った。これらの活動を通して、国内外に目を向け自分たちにできることを考えさせ、奉仕の精神を養うことができた。

【1年生】

- ・生活科「あさがおをそだてよう」の学習において、あさがおの栽培を通して自然の不思議さや素晴らしさを受け止めながら、生命あるものを大切にしようとする豊かな心情を育んだ。
- ・学活「なかよくあそぼう」の学習において、保育園や幼稚園の年長組の園児たちとの交流活動を通して、主体的に関わろうとする心情やコミュニケーション能力の向上を図った。

【2年生】

- ・生活科「やさいをそだてよう」の学習において、環境変化に合わせながら一人一鉢で野菜を育てたり、育てた野菜を使った料理で収穫の喜びを味わったりすることで、自然の恵みに感謝する豊かな心を育成した。

【3年生】

- ・社会科「市ではたらく人びとのしごと」や総合的な学習の時間「蓮田ものしりはかせ」の学習において、学区内の公共施設等の調査活動や地域の人々とのふれあいを通して、「自己を見つめ直す」「お互いのよさを認め合う」「社会との関わりを深める」機会とした。
- ・総合的な学習の時間「野菜プロジェクト」では、一人一鉢栽培や学級園での野菜作り、さらにその野菜を使った料理をして収穫を喜ぶ活動を通し、課題発見能力や問題解決能力の育成を図ると共に、気候と環境の変化に気づき生命を尊重する態度を育てた。

【4年生】

- ・総合的な学習の時間「チャレンジ！ザ・町の自然博士」の学習において、地元の「黒浜沼の自然を大切にする会」の方々に教えていただきながら、地域の黒浜沼に生息する植物・生物についての調査活動を実施した。
- ・蓮田市の自然環境について気づきや発見をまとめ発表する活動を通して、将来にわたり価値ある財産として残そうとする心情を育てた。

【5年生】

- ・総合的な学習の時間「世界に飛び立とう!」の学習において、地域に住む外国人との交流体験をもとに、外国の言語や衣食住に触れながら異文化体験活動を行うことにより、諸外国について理解を深めると同時に、日本の伝統文化のよさを再発見させた。
- ・総合的な学習の時間「お米のひみつをさぐろう」では、バケツイネの栽培体験を通して、米農家の人々の苦労や自然との関わりについて学ぶと同時に、日本の食文化のルーツや現代の食糧問題などにまで学習を広げた。

【6年生】

- ・社会「日本とつながりの深い国々」「世界の未来と日本の役割」の学習において、日本と関係の深い国々について調べる活動を通して、日本と諸外国との交流、世界の中の日本、他国と自国のよさと違いに気づかせ、日本人としての自覚や誇りを持ち、将来、地球人として共に生きていくことの大切さを学ばせた。

【特別支援学級】

- ・生活単元学習では、地域の農家に土地を借りて「サツマイモ栽培」に取り組んだ。自然体験学習を通して、他者と関わったり生命の大切さを感じたりする機会を積極的に設けた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）